



いのちとくらしを守る県政・市政へ 力をあわせ頑張ります！

県会 石田和子
市議 5期 20年

日本共産党

市会 小堀しょうこ
党高津区市政対策委員長



川崎も中学卒業まで医療費無料化を 政令市、県内でいっきに進む通院助成

● 県内 33 市町村のうち 24→新年度中に 29 市町村へひろがる

川崎と同じ小学 6 年までだった横浜、藤沢、茅ヶ崎、秦野市、逗子市が中学卒業まで拡充。
残る 4 市のうち所得制限も一部負担金もある川崎市は県内ワースト 1 位に。



● 20 政令市で川崎市はワースト 3 位

通院助成年齢	自治体数	(2019 年度予算での拡充分含む)
高校卒業まで	4 (4 市・所得制限なし)	
中学卒業まで	10 (7 市が所得制限なし)	
小学卒業まで	4 (うち川崎市のみ所得制限・一部負担金あり)	
小学 3 年生まで	1	
小学 2 年生まで	1	

あと 16.5 億円あれば 川崎市も中学卒業まで
拡充できる！ 県は市町村へ補助拡充を！

神奈川県は就学前まで（政令市には補助率 1/4）。
千葉県は小学 3 年生まで、東京都、群馬県は 15 歳の年
度末まで。茨城県、栃木県は小学 6 年生まで。県が対象
年齢を拡充すれば市町村の制度拡充につながります。

保育所の待機児ゼロに 認可保育所増設と保育士の処遇改善を

1 月 25 日現在、申込んで入所できない保留児は 3,541 人。
新年度、市は定員枠を 2,151 人増やす計画ですが、そのうち認可保
育園の新設は 1,560 人分。うち、園庭の確保が困難な民間事業者に
1,470 人分もまかせる計画。市は公有地と民有地を活用して園庭のある
保育園の整備を！

◆ 専門職にふさわしい保育士の処遇改善を急いで！

深刻な保育士不足、処遇改善が緊急課題です。2018 年度、横浜市
は国の「7 年以上経験の保育士に月 4 万円の賃金アップ」を保障するため市単独で今年度 10 億円の予算を確保。川崎市は月 2 万円アップ
になる 5,545 万円。すべての保育士の処遇改善と横浜なみに拡充を

認可保育所申込状況 今年 1 月 25 日現在
〈最も多い中原区と高津区を抜粋〉(昨年 1 月)

	今年 4 月新規利用申請	内定数	入所保留数
中原区	2,657 (2,486)	1,768 (1,455)	889 (1,031)
★高津区	1,779(1,798)	1,169(1136)	610(662)
全市計	10,927(10,666)	7,386(6,919)	★3,541(3,747)

特別養護老人ホームの増設を

	2015 年 4 月		2018 年 5 月		2019 年 5 月	
	カ所数	定員	カ所数	定員	カ所数	定員
川崎区	6	429	7	555	7	555
幸区	7	769	7	775	7	775
中原区	7	515	7	515	7	515
★高津区	4	318	5	440	6	550
宮前区	9	587	9	587	9	587
多摩区	10	862	10	834	10	834
麻生区	9	828	10	957	10	957
計	52	4308	55	4663	56	4773

市内の定員 4,663 人に対し待機者は昨年 10 月 3,555 人。整備計画
が少なすぎます。石田議員は公有地に特養ホームの整備を、特に 3
カ所しかない高津区に増設を！と 2011 年から何度も質問。14 年に「お
だかの郷」、18 年に久末地内に「新緑の郷」、今年 5 月には住民と
要望した大谷久末市営住宅跡地に「高津山桜の森」が開設。22 年
に市営四方嶺住宅跡地に整備されると 7 カ所 660 人に。

小堀しょうこは引き続き、とりくみます。

川北のひろば 2019 年 3 月号外 日本共産党の見解を紹介します。
発行 日本共産党川崎北部地区委員会
住所 川崎市多摩区西生田 1-13-1 / 電話 044 (281) 3501

みなさんとともに 住みよい高津へ

石田和子は市議 5 期 20 年の経験を今度は県政へ
小堀しょうこは石田和子の歩みを引きつぎ市政へ

津田山駅北口の橋上駅舎、6月上旬に供用開始

計画は3月末が北口の使用開始でしたが、2月14日、まちづくり局長は、「現在の工事の進捗状況等を踏まえ、6月上旬に北口一部の使用開始予定」と発表しました。「もうすぐですね」と期待の声が寄せられています。

●住民のみなさんとともに

「津田山駅にエレベーター設置を」の要望をうけ07年に「津田山駅と周辺をよくする会」が署名活動を開始、08年に約3000筆の署名を川崎市長とJR東日本横浜支社長に提出。JRには10年にも再要請に。石田議員も同行しました。

●石田議員 2006年から10年間で12回質問

石田和子議員は交通バリアフリー新法施行の2006年にエレベーター設置を議会で初質問。▼2010年、市が、示した「エレベーター付き跨線橋」に、利便性は良くならないと主張し橋上駅舎を要求。▼市は12年にJRと橋上駅舎化の基本覚書を締結したが、▼15年、経費削減策の検討のため突然延期を発表、石田議員は早期予算化を質問する等、2016年に現工事予算の議決まで計12回質問しました。なお、高津区議員懇談会は2011年度から予算要望に毎年盛り込みました。



浸水被害の再発防止対策すすむ 現場に直行、議会で対策を迫る

宮の下商店街付近

石田議員は浸水発災の連絡を受け現地に直行、その後、住民と市に要望し水路が改修された宮の下商店街付近ですが、2004年に地域一帯の抜本対策が必要と質問。08年に国道246号線から身代わり不動尊、宮の下商店街など55箇内の対策がとられました。

猛暑から子どもの命を守れ 特別教室と体育館に空調設置を急いで

昨年の10月と12月議会で石田議員は、未設置の特別教室や体育館に空調を急ぎ設置すべきと質問。以下、「」は、教育次長の答弁要約です。今後は小堀しょうこが取り組みます。

特別教室への設置を急いで

- ①「☆『長期保全計画』の第1期取組期間（～2024年度）に築31年以上（Cグループ）の98校について、全ての特別教室に設置する」
（☆長期保全計画とは、築年数でA、B、Cグループにわけ外壁改修、屋上防水、全トイレ改修、エレベーター設置等、校舎、体育館の長寿命化を図る計画。2020年度以降の計画はまだなので急ぎたてるよう求めます）
- ②「平成20、21年度に普通教室に設置した☆小学校89校と中学校41校が平成33年度末に一斉更新になる。この一斉更新を控え平準化も考慮しながら特別教室への設置も一緒に検討する」
（☆区内対象12校のうち高津地区では下作延小、坂戸小、高津小、久地小、梶ヶ谷小、西梶ヶ谷小）

小堀しょうこは ①②の対象外の学校の設置計画を早急にたてる事を求めます

災害時避難所にもなる体育館に空調設置を

「(技術面などの)課題への対応も検討しながら、この夏の気温上昇を踏まえ、関係局と協議するとともに国や他都市の動向を注視する」と答弁。小堀しょうこは 関係局との協議を前に進め、早期に全校体育館の空調設置、まずは長期保全計画の対象体育館に空調を設置するよう求めます

新年度予算で 教育環境改善

- 下作延小学校の校舎・体育館トイレ快適化の工事予算が計上
- 西高津中の校舎長期保全工事費と全トイレ改修の設計費

*西高津中の校舎の屋根、外壁補修、照明改修等の工事費が2019年度予算に計上。校舎・体育館のトイレ快適化の設計予算も計上されました。石田議員は2015年6月議会で西高津中のトイレの悪臭や配水つまり、配水管の老朽化の実態をあげ、全トイレの早急な改修と長期保全計画を急ぐべきと質問しました。



参議院・比例
しいばかずゆき



参議院・神奈川
あさか由香

消費税10%増税中止
憲法9条「改憲」ストップ
原発ゼロの日本
高津区から安倍政治にサヨナラ